

函館中部高校 SSH学習 オリエンテーション (2020. 5. 25) SSH推進部

函中コンピテンシー (行動特性)

..こんな大人になって欲しい

「時代を切り拓く力」

「世界に、未来に貢献する力」

函中コンピテンシーを育む4つの力

- 傾聴力 (Listening)
- 思考力 (Thinking)
- 協働力 (Collaboration)
- 先見力 (Foresight)

- 傾聴力..他者理解力、基礎学力、理解力、コミュニケーション力
- 思考力..課題処理能力、主体的に取り組む力、創造力、表現力、論理的思考力
- 協働力..実行力、リーダーシップ、社会性、主体性、協調性、挑戦する力
- 先見力..洞察力、社会貢献力、異文化理解力

中部で学ぶ



函中コンピテンシーを実現

※従来までの中部高校の教育活動に加え、SSHの取り組みによって、さらに高いレベルでの「函中コンピテンシー」を実現する。

5

SSHで何をを目指すのか？

1 文系・理系にかかわらず、科学的探究心を高める



すべての人が、めまぐるしく発展する科学技術を活用できるようにするため

6

※学校設定教科：SS研究

- ・SS研究基礎(1年全員)
- ・SS研究発展Ⅰ(2年全員)
- ・SS研究発展Ⅱ(3年理系)

◎地域や世界の課題を発見し、その解決方法を研究する

→ 科学的知識を持つ地域リーダー(道南・北海道)として活躍！

7

SS研究でどんなことをやるのか？

SS研究基礎(1年生全員)→別紙No1

- ・学習デザイン講演会(6月)
- ・大沼講演会(6月)・大沼環境調査(6月)
- ・大沼研究発表会(9月)
- ・研究活動(9～2月)
- ・SS研究発表会(3月)

※SS研究発展Ⅰ・SS研究発展Ⅱで研究を継続する(テーマ変更可)



8

SS研究の進め方

•SS研究基礎•

課題発見→グループ作り→研究方法の開発
→調査・実験・観察など→研究のまとめ
→発表

※未知の課題に対して粘り強く取り組む！

•SS研究発展Ⅰ→SS研究発展Ⅱ（理系）

※学年を継続して研究を進める！！

9

「調べ学習」と「研究」は
違う！！



SSHでは「研究」を行う！

10

2 先進的な科学技術の研究

→ 世界をリードする科学者を目指す！
（日本・世界で活躍する先端科学者）

- SS特講Ⅰ（1年選択者）
 - SS特講Ⅱ（2年理型選択者）
 - SS特講Ⅲ（3年理型選択者）を履修
- （いずれも最大40名程度）

11

※SS特講について（約40名）



選択者は「SS特講志望理由書」などで選抜！

夏季休業時よりスタートします！

7月28日 はこだて未来大見学

8月11日 北大臼尻水産実験所
巡検（宿泊）

12

8月12日 施設見学(農業試験場など予定)

9月4日 地熱発電所見学

9月～ 地域理解講演会

10月～ 研究活動(金7・8校時)

11月26日 地域企業見学巡検

12～1月頃 道外研修(筑波研究学園都市など)

※交通費・宿泊費はSSH(15名程度選抜)で支出されます。

※実験研究費もSSHの予算から支出されます。

13

SS特講の進め方

・SS研究基礎のテーマをさらに深く研究する

※SS特講での巡検活動と研究活動(別紙No2)

※SS研究基礎の研究グループは、SS特講を選択する生徒同士で組むようにする。

※研究活動日は金曜日7～8校時(別紙)。部活動はその後に参加。

(出席を取る → 単位認定)

14

その他の活動(希望者)

★科学系部活動の充実(現在は、地学部・生物部が活動中)

→ 物理系・化学系・数学系・情報系等の研究にも、部活動として対応できるように構想中。

→ 高文連理科研究発表会への参加など

★「数学オリンピック」「化学グランプリ」等への積極的参加(旅費補助)。

15

★「SSHクラブ」・・・諸般の事情で「SS特講」を履修できない場合でも、自主的な実験・観察・研究ができるような場所を提供(部活のない放課後・土日など)。

★「科学の祭典」の参加など。

★「イングリッシュサイエンスカフェ」、「リケジョカフェ」の開催(学校内外)。

16

☺身の回りのちょっとした疑問から、世界的な課題まで、自らテーマを設定し、自分の力で解決に導く研究を目指す。

☺これからの世界では・・



人類が経験したことのない課題に対し、国際的にも協働して解決方法を見出すことのできる人材が必要！

函中125期生の力でSSHを盛り上げよう！！